

第 3 1 回 実 践 化 学 工 学 講 座

主 催 化学工学会関西支部

協 賛 応用物理学会関西支部、大阪工研協会、近畿化学協会、高分子学会関西支部

触媒学会、石油学会、電気化学会関西支部、日本化学会近畿支部、日本機械学会関西支部〈予定〉

本講習会では化学プラントでの具体例を出発点とし、基礎研究の成果を工業化していく段階でどのような基礎データが必要か、どのようなアプローチが必要なのか、またフラスコでの現象がプラントではどんな結果になるのか等について、画像、映像、デモンストレーションなどを取り入れて化学工学以外の出身者にも十分理解していただけるように平易に解説いたします。各科目は、産学界の第一線で活躍されている講師陣による工業化例の紹介から始まり、基礎理論の解説、例題演習までがそれぞれ一日で完結する構成となっており、受講は一日単位でも可能となっております。また、チュートリアルとして、「化学工学の基礎」について学習する機会を設け、単位操作の学習をする前に化学工学の基本的な考え方について分かり易く解説いただきます。社内教育の一環としても是非ご活用下さいませようご案内申し上げます。

※ なお、「反応工学」は、他の科目に比べ、多くの事項を取り扱います。初めて、「反応工学」を学ばれる方は、「基礎化学工学講座 [反応工学編]」（8月下旬～9月上旬開講）を先に受講されることを強くお勧めいたします。

日 時 2026年10月6日(火)、15日(木)、21日(水) / 11月2日(月)、9日(月)、12日(木)、
19日(木)、24日(火) / 12月1日(火)、7日(月)、17日(木) (全11回・各9:15-16:45)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4 電話06-6443-5324)

<交通> Osaka Metro(地下鉄) 四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩5分。うつぼ公園北詰。

※10月21日(水)「蒸留」は関西化学機械製作(株)(実験機によるデモンストレーション有)
(兵庫県尼崎市西向島121-1) <交通> 阪神電車「出屋敷」駅下車。南に徒歩約12分。

(プログラムの詳細・シラバスはHP <https://www.kansai-scej.org/topics/7345>) を参照)

【チュートリアル】

10月 6日(火) **化学工学の基礎**

(9:15~16:45)

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 馬 越 大 氏
神戸大学先端膜工学研究センター 特命教授 松 山 秀 人 氏

化学工学を学んでいない、もしくは、化学工学の基礎を再確認したい受講生を対象とした入門講義。『反応』、『分離』などの操作の原理や、装置の設計や運転の基礎となる物質収支、エネルギー収支を表す式について講義、演習を行う。

【科 目】

10月15日(木) **反応工学**

(9:15~16:45)

京都大学大学院工学研究科 教授 河 瀬 元 明 氏

早稲田大学理工学術院 招聘研究員 / 元(株)日本触媒 常 木 英 昭 氏

基礎編では、反応器の設計と運転条件決定に必要な理論を概説し、応用編では、具体的な反応工学の活用について、実際に企業化した触媒反応プロセスの例を中心として紹介する。

10月21日(水) **蒸 留**

(9:15~16:45)

京都大学大学院工学研究科 教授 外 輪 健 一 郎 氏

関西化学機械製作(株) 代表取締役社長 野 田 秀 夫 氏

気液平衡から理論段数までの基礎理論編につづき、応用編では蒸留塔の構造の詳細や省エネ型蒸留塔など最新の動向を学ぶ。さらに実機を用いた実習により理解を深める。

11月 2日(月) **晶 析**

(9:15~16:45)

新潟大学工学部 准教授 三 上 貴 司 氏

カツラギ工業(株) 営業技術部 部長代理 對 馬 一 平 氏

基礎理論編では、晶析の現象、晶析操作の概要、装置設計の基礎となる物性などの計算について、演習を交えて解説する。応用編では、晶析プロセスの開発や設備管理における問題点について演習を交えて解説する。

11月 9日(月) **吸 着**

(9:15~16:45)

長崎大学大学院工学研究科 准教授 瓜 田 幸 幾 氏

エア・ウォーター(株) プラント・機器開発センター 主任 金 子 雅 之 氏

基礎理論編では、吸着の基礎を講義し、吸着材の細孔構造評価のポイントと吸着等温線測定について解説する。応用編では、吸着剤の紹介と性質、吸着技術を用いたガス分離装置の実例と設計方法について解説する。

11月12日(木) **吸 収**

(9:15~16:45)

関西大学環境都市工学部 教授 田 中 俊 輔 氏

東亜合成(株) 技術生産本部エンジニアリング部 主査 鈴 木 日 和 氏

ガス吸収において重要な気液平衡、拡散速度、二重境膜モデル、吸収塔設計法の原理を基礎理論編で、応用編では吸収塔の設計の進め方から実際の装置の構造について解説する。

11月19日(木) 粉粒体

(9:15~16:45)

京都大学成長戦略本部 / PHTS 代表 松坂修二氏

元住友化学(株) 遠藤禎行氏

粉粒体操作の基礎から解説をスタート。粉体のキャラクタリゼーション、ダイナミクスを基礎理論とし、粒子層の力学、濾過・集塵エアフィルターを扱う応用編へと進む。

11月24日(火) 乾燥

(9:15~16:45)

静岡大学大学院工学領域 准教授 立元雄治氏

月島機械(株) 参事 諏訪聡氏

乾燥現象を定量的に理解するための基礎理論、乾燥方式の種類と特徴、装置の設計方法について演習を交えて学ぶ。応用編では、乾燥機の構造と選定方法、スケールアップのポイント、トラブルの対策などについて解説する。

12月1日(火) 流動・伝熱

(9:15~16:45)

大阪公立大学大学院工学研究科 准教授 堀江孝史氏

古川技研 代表 / 元(株)カネカ 古川龍二氏

基礎理論編では流動・伝熱の実用に必要な基本的事項を順序よく一覧する。応用編では反応装置システムを題材とした実践的な演習を通して計算の実際に触れる。

12月7日(月) 攪拌・混合

(9:15~16:45)

神戸大学大学院工学研究科 准教授 菰田悦之氏

元(株)ダイセル 亀井登氏

基礎理論編では完全混合槽モデルを基礎とし、所要動力、混合、スケールアップの進んだテーマを学ぶ。応用編では設計に関わる諸問題を、演習問題を通して学習する。

12月17日(木) プロセス制御

(9:15~16:45)

京都大学大学院情報学研究科 教授 加納学氏

住友化学(株)生産安全基盤センター 橋爪悟氏

プロセス制御の扱いの平易な解説は基礎理論編で、プロセス制御の実例としてコントローラ、蒸留プロセスを扱い、制御系の設計・改善提案に及ぶ応用編の二部構成。

申込締切 9月18日(金)

定員 各科目 40名 (チュートリアル「化学工学の基礎」は60名)

参加費

	個人会員 (協賛団体含む)	法人会員 (協賛団体含む)	会員外
全部受講	68,000円	89,000円	120,000円
1日受講	10,000円	19,000円	25,000円

(消費税、講習会テキスト代を含む)

会員外の方へ

化学工学会正会員にご入会されると、全部受講 73,500円、1日受講 15,500円《会費半年分(9月~翌2月) 5,500円含》でのご参加となります。詳しくは下記へお問合せ下さい。

申込方法 第31回実践化学工学講座のHP[<https://www.kansai-scej.org/topics/7345>]からお申込み下さい。

参加費は、銀行振込 (りそな銀行御堂筋支店普通預金 No. 0405228 「公益社団法人化学工学会関西支部」名義) をご利用下さい。なお、銀行振込の場合、必ず送金予定日を明記願います。お申し込後にキャンセルされる場合は必ず9月18日(金)までにご連絡を下さい。期日までにキャンセルのご連絡がない場合は参加費をいただきます。

※参加者にはテキスト・参加証を郵送いたします。(9月下旬頃)

※講習会当日には関数電卓を各自でご持参下さい。

※受講者には、修了証書を発行致します。



申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 (大阪科学技術センター6F)

公益社団法人 化学工学会関西支部

TEL : 06-6441-5531 / FAX : 06-6443-6685 / E-mail : apply@kansai-scej.org

QRコード
申込WEBフォーム